

消化器外科を受診される患者さんへ
研究に対するご理解・ご協力をお願い

さいたま市立病院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加されることによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。ご自身が本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に『ご自身の診療情報を使ってほしくない』とお思いになられる場合は、後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2013年4月1日～2019年12月31日の間に、さいたま市立病院において大腸癌に対して根治術を受けられた方。

【研究課題名】

大腸癌手術症例における炎症性マーカーと血球分画、短期および長期予後に関する臨床研究

【研究責任者】

さいたま市立病院 消化器外科 部長 馬場 秀雄
さいたま市立病院 消化器外科 医長 中太 淳平（実施責任者）

【目的】

術後合併症発症の有無が大腸癌術後の生存期間に影響をするという研究があり、術後間もない時期での全身におよぶ炎症反応の上昇は、大腸癌の治りやすさに関係していることが言われています。現在、採血データなので様々な炎症反応を表す項目がありますが、このようなデータをもとに、大腸癌の予後を予測する要因を探ることを目的としています。

【研究の方法】

既存の診療記録から、下記の診療情報を収集して、匿名化データとした上で解析させていただきます。

本研究は、通常診療で得られた情報を調査・解析するものになりますので、研究のために患者さんに新たに検査や処置を受けていただくなど、ご負担・不利益が生じることはありません。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、既往歴、合併症、身長、体重、BMI、血液検査値（アルブミン、BUN、Cr、CRP、HbA1c、CEA、CA19-9等）
短期成績（手術時間、出血量、リンパ節郭清個数を含む病理所見、術後経過等）
長期成績（全生存期間、無再発生存期間等）、手術記録 等

【研究期間】

倫理委員会承認後より 2024年 12月31日までを予定しております。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する患者さんの診療情報は、「個人情報管理者」が責任を持って匿名化（どの患者さんの情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたもの）データとした上で、解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保管・管理し院外への持ち出しは行いません。本研究の結果は学術集会等において公表することを予定しておりますが、その際にも、個人の特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名化のまま5年間保存した後に廃棄します。

【問い合わせ先】

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとのご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので、遠慮なくお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、患者さんやそのご家族の方が病気の治療を行う上で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

本研究に関するご質問、お問い合わせがあります場合、またはご自身の診療情報について開示・訂正のご希望があります場合には、下記連絡先までお問い合わせください。

皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先

さいたま市立病院 消化器外科 医長 中太 淳平

(個人情報管理者・研究実施責任者)

〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区大字三室 2460 番地

電話：048-873-4111 (代表) FAX：048-873-5451

研究実施体制

慶應義塾大学病院	一般・消化器外科	専任講師	岡林剛史（研究代表者）
済生会宇都宮病院	外科	医員	牧野暁嗣
川崎市立川崎病院	外科	医員	近藤崇之
さいたま市立病院	消化器外科	医長	中太淳平
東京医療センター	外科	医員	島田岳洋
平塚市民病院	外科	医員	田島佑樹